

CDDシリーズ

ブラケット使用時のチルト・パン最大角度について

※CDD6・8・10・12用ウォールブラケットの最新モデルでは、別売りのウォールスペーサーキットを使用することでチルトおよびパンの最大角度を拡張できます。

		縦向き	横向き(平らな側面を右側、 カーブした側面を左側)	横向き(平らな側面を左側、 カーブした側面を右側)
CDD5	ウォールブラケット	下振り	0 ~ 70°	0 ~ 60°
		上振り	0 ~ 25°	0 ~ 45°
		左振り	0 ~ 45°	0 ~ 30°
		右振り	0 ~ 45°	0 ~ 45°
	シーリングブラケット	下振り	-	0 ~ 60°
		上振り	-	0°
		左振り	-	0 ~ 30°
		右振り	-	0 ~ 45°
CDD6	ウォールブラケット	下振り	0 ~ 25°	0 ~ 20°
		上振り	0°	0°
		左振り	0 ~ 55°	0 ~ 20°
		右振り	0 ~ 50°	0 ~ 45°
	シーリングブラケット	下振り	-	0 ~ 35°
		上振り	-	0°
		左振り	-	設置時に調整
		右振り	-	設置時に調整
CDD8	ウォールブラケット	下振り	0 ~ 20°	0 ~ 25°
		上振り	0°	0°
		左振り	0 ~ 45°	0 ~ 15°
		右振り	0 ~ 45°	0 ~ 20°
	シーリングブラケット	下振り	-	0 ~ 35°
		上振り	-	0°
		左振り	-	設置時に調整
		右振り	-	設置時に調整
CDD10	ウォールブラケット	下振り	0 ~ 30°	0 ~ 25°
		上振り	0°	0°
		左振り	0 ~ 40°	0 ~ 15°
		右振り	0 ~ 45°	0 ~ 20°
	ヨーク	下振り	-	0 ~ 90°
		上振り	-	0 ~ 90°
		左振り	-	設置時に調整
		右振り	-	設置時に調整

		縦向き	横向き(平らな側面を右側、 カーブした側面を左側)	横向き(平らな側面を左側、 カーブした側面を右側)
CDD12 ウォールブラケット	下振り	0 ~ 25°	0 ~ 25°	0 ~ 25°
	上振り	0°	0°	0°
	左振り	0 ~ 45°	0 ~ 25°	0 ~ 15°
	右振り	0 ~ 40°	0 ~ 15°	0 ~ 25°
	ヨーク	下振り	-	0 ~ 90°
		上振り	-	0 ~ 90°
		左振り	-	設置時に調整
		右振り	-	設置時に調整
CDD15 ウォールブラケット	下振り	0 ~ 30°	0 ~ 30°	0 ~ 30°
	上振り	0°	0°	0°
	左振り	0 ~ 54°	0 ~ 34°	0 ~ 21°
	右振り	0 ~ 53°	0 ~ 21°	0 ~ 34°
	ヨーク	下振り	-	0 ~ 90°
		上振り	-	0 ~ 90°
		左振り	-	設置時に調整
		右振り	-	設置時に調整

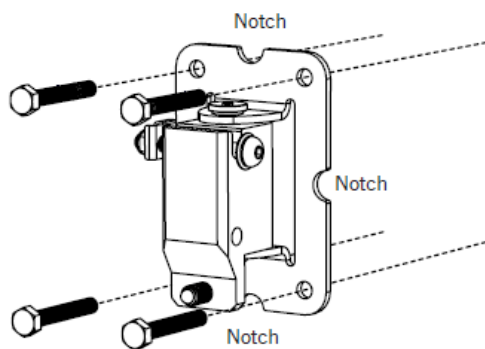
ウォールスパーサーキット(別売り)

ウォールスパーサーキットには以下の2種類があります。

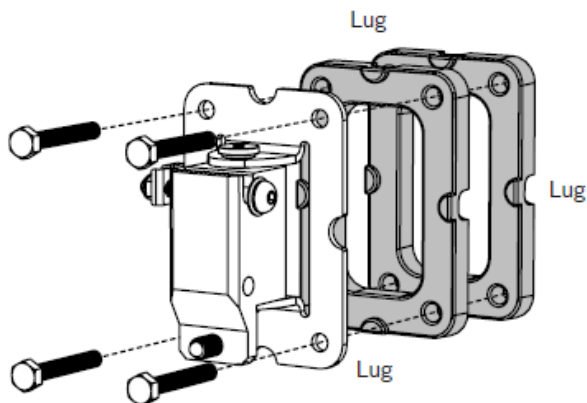
- **SP6/8**: CDD6・CDD8用ウォールブラケット (WB6/8)に使用できます。
- **SP10/12**: CDD10・CDD12用ウォールブラケット (WB10/12)に使用できます。

本製品を使用することで、可動する最大チルト角およびパン角を拡張できます。

- 各キットには、スパーサーが1ペア含まれています。
- スパーサーの厚さは約10 mm(0.4インチ)です。
- ウォールブラケット1つにつき、必要に応じて1個または2個のスパーサーを背面に装着してください。
- カラーはブラック(SP6/8-BおよびSP10/12-B)とホワイト(SP6/8-WおよびSP10/12-W)をご用意しています。
- 本製品は最新バージョンのウォールブラケットにのみ対応しています。最新バージョンには、壁側パーツの外側に4つのノッチ(切り欠き)があります。



- 各スパーサーの前面には、ブラケットのノッチ(切り欠き)にはまり込む4つの突起(ラグ)があります。また、背面には4つのノッチがあり、2個目のスパーサーの突起と連結できるようになっています。



- 本製品は、ノッチ(切り欠き)のない旧バージョンのウォールブラケットには対応していません。

チルト角・パン角への影響

これらのスパーサーがチルト角およびパン角に与える影響の例として、WB6/8ブラケットを使用してCDD8を横置きにした場合の最大パン角を以下に記載します。

- スパーサーなし: 20°
- スパーサー1個: 35°
- スパーサー2個: 42°

横置きにおける最大パン角は、スピーカーの曲面側を壁側に向けて設置したときに得られます。なお、スピーカーは上下どちらの向きでも取り付けられるため、左右いずれの方向でも最大パン角を確保することができます。